

診断士会 News

No.2019-07

2019年10月18日

鳥取県コンクリート診断士会

〒682-0025 倉吉市八屋 354-1

☎0858-26-2411 Fax0858-26-5537

URL⇒<http://www.tottori-acc.com/>

2019年度 第2回 座学（講演会）

- ◆開催日時 : 2019年10月18日(金) 13:30-17:00
- ◆場 所 : エキパル倉吉(倉吉市上井 195 JR倉吉駅 1F)
- ◆参加者数 : 11社、28名

1. 講演会の概要

表-1 に示す通りである。

表-1 講演会開催概要

演題及び概要	講 師
講演Ⅰ 『Asia Steel Bridge Competition 報告』 8/24-25、インドネシア マラン市 Brawijaya 大学で開催された『Asia Steel Bridge Competition』の参加報告。コンペの概要やアジア各国の学生のレベルや意気込み、大会の様子など紹介いただきました。	鳥取大学大学院土木学 専攻在学 宮内 芳維氏
講演Ⅱ 『下水道施設のコンクリート劣化について』 下水道施設のコンクリート劣化を調査・補修設計し、硫化水素および硫酸による劣化状況について写真を用い紹介し、その劣化メカニズムや対策の考え方等を報告いただいた。	本会技術委員長 シンワ技研コンサルタ ント(株) 橋本健男氏
講演Ⅲ 『材料・工法紹介と質疑応答』（講演 80分、質疑 20分） 【橋梁コンクリート床版上面補修工事の断面修復材及び補強工法について】 ゴムラテシリーズを中心に、材料特性、適用事例等を紹介していただいた。 【CFRP ロッド補強工法】 工法概要、優位点、適用事例を中心に紹介していただいた。 即日開放にも対応可能な、超早強 [®] リマーセメントモルタルと炭素繊維を組み合わせた床版上面補強工法。	太平洋マテリアル(株) 混和材営業部 佐竹 紳也氏 三菱ケミカルインフラ テック(株)関西支店 イ ンフラ資材G 山内 征一郎氏

2. 感想、ほか

【講演Ⅰ】では、『Asia Steel Bridge Competition』に昨年に続き参加し、総合優勝を果たした取組や様子が紹介された。

【講演Ⅱ】では、下水道施設における硫酸によるコンクリートの損傷状況を写真で確認できた。損傷の深刻さを改めて認識した。

【講演Ⅲ】では、橋梁床版コンクリート補修材料ゴムラテシリーズの商品紹介が行われた。橋梁床版コンクリート補修材料に要求される性質が段階的に変わって行った事を確認し、従来製品に比べ改善されたこ

とを確認した。適用事例の紹介もあり、参考となった。

CFRP ロッド補強工法では、炭素繊維の特性（耐久性、強度、軽量）を生かした工法開発が進んでいることを確認した。適用事例の紹介もあり、参考になった。また、源太橋で使用されていた事に驚いた。

質疑の中で、無収縮モルタルの言葉の定義について材料メーカーから説明があり、断面修復材との違いを確認した。モルタルとコンクリートの材料構成と乾燥収縮量の違いについて理解できたことは参考になった。

質疑応答が活発に行われ、新規情報の収集に役立つ講演会となった。

以上



宮内芳維氏(鳥取大学大学院在学)



橋本技術委員長



佐竹紳也氏(太平洋マテリアル)



山内征一郎氏(三菱ケミカルインフラテック(株))



会場の様子